

# 朗読劇 父と暮せば

入場無料

被爆80周年を記念し、あの「夏」の後の広島で生き残った負い目を抱える娘とその父親の交流を描く、井上ひさし作『父と暮せば』のリーディング公演を行います。

## 2025年8月3日(日)14:00開演(13:00開場)

1994年に初演された井上ひさし作の戯曲。

原爆投下後、昭和23年の広島を舞台に、生き残った負い目から自分だけが幸せになってはいけないと恋を固く禁じた娘と、なんとか幸せになってほしいと娘を応援する父親の二人芝居。

愛する人を失い、痛みをかかえて、それでも前を向いて生きていく残された人々の姿が描かれている。

**出演/中井敏哉、宮廻貴衣**  
(演劇ユニット体温)



©こどものはっぱ

### スタッフ

作/井上ひさし  
演出/中井敏哉  
作曲/加藤健一  
音響・舞台監督/神明恒彦  
プロデューサー/中井久美  
制作/細川チカコ、佐々木敦子



### 出演者プロフィール



#### 中井敏哉

1998年松江市の劇団あしづえに入団。八雲国際演劇祭に『二十夜待ち』で出演。2003年演劇ユニット体温を旗揚げ。主な出演作品に、『父と暮せば』『煙が目にしみる』『トリガー』(以上、演劇ユニット体温)、『ひげよさらば』(PROJECTFe)、『十』(INAGO-DX)、『熱帯樹』『水曜日の食卓』『かもめ』『デンキ島〜松田リカ編〜広島版』(以上、演劇引力広島)など。



#### 宮廻貴衣

生まれも育ちも広島。3歳から葉室潔氏、田中登氏(葉室舞踊研究所)のもとでバレエを始める。その後、小池恵子氏、渡部清美氏(小池バレエスタジオ)にて高校3年生まで続ける。漫画、花とゆめ『ガラスの仮面』に影響され、中学1年生から廃部寸前の演劇部に飛び込む。中学・高校、共に6年間演劇部に所属。高校卒業後は広島の劇団を転々と所属し、現在は芝居に限らずフリーで活動中。

### 演劇ユニット体温

2003年に代表の中井敏哉とプロデューサーの中井久美の2名で旗揚げ。作品ごとにスタッフ・キャストを集め、年に一回の公演を基本とし活動している。

2005年に『父と暮せば』を演劇公演として上演。以来、リーディングも含めて何度も再演を重ね、今年で20年目を迎える。

### 関連事業

#### ■広島市映像文化ライブラリー

平和のシネマテーク2025

2025年8月2日(土)、8月14日(木)

映画「父と暮せば」

2004(平成16)年 99分 カラー

監督/黒木和雄 出演/宮沢りえ、原田芳雄、浅野忠信

①10:30～ ②14:00～ ③18:00～

鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、25歳以下無料

#### ■アステールプラザ平和発信事業

演劇ユニット体温 リーディング公演

「父と暮せば」

2025年8月11日(月・祝)①14:30～ ②18:00～

2025年8月12日(火) ①15:00～ ②19:00～

会場/アステールプラザ 視聴覚スタジオ

料金/一般前売り1,500円(当日2,000円) 学生前売り1,000円(当日1,500円)

問合せ/JMSアステールプラザ 電話 082-244-8000



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

■開館時間:火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(祝日は開館)、祝日の振替日、臨時休館(令和7年10月1日～)

